

事項	飼料米用品種「みなゆたか」における浸種籾または催芽籾を用いた乾田直播栽培の播種晩限														
ねらい	飼料米用品種「みなゆたか」を浸種籾または催芽籾を用いて乾田直播栽培で生産する場合について、各地域別に出穂後有効積算気温が高位で安定する播種晩限を検討したので、その内容を参考に供する。														
指導参考内容	<p>1 「みなゆたか」における乾田直播栽培の播種作業は、中南、三八地域では5月10日、東青、西北、上北地域では5月15日までに終わることを目標にして、圃場条件が整い次第早めに行う。</p> <table border="1" data-bbox="418 728 1332 846"> <tr> <td>地域名</td> <td>中南地域</td> <td>三八地域</td> <td>東青地域</td> <td>西北地域</td> <td>上北地域</td> </tr> <tr> <td>播種晩限</td> <td>5月10日</td> <td>5月10日</td> <td>5月15日</td> <td>5月15日</td> <td>5月15日</td> </tr> </table> <p>2 播種晩限までに播種した場合、試算される収量は㎡当たり籾数が多いほど多収になる。</p>			地域名	中南地域	三八地域	東青地域	西北地域	上北地域	播種晩限	5月10日	5月10日	5月15日	5月15日	5月15日
地域名	中南地域	三八地域	東青地域	西北地域	上北地域										
播種晩限	5月10日	5月10日	5月15日	5月15日	5月15日										
期待される効果	飼料米用品種「みなゆたか」の乾田直播栽培について、収量の高位安定化を図るための播種晩限が示される。														
利用上の注意事項	<p>1 「みなゆたか」を飼料米として生産する場合の指標であるため、他品種や食用米の生産には適用できない。</p> <p>2 乾籾播種には適用できない。出穂後有効積算気温は、浸種籾及び催芽籾を使用した場合の数値である。</p> <p>3 浸種籾は、積算水温で100℃を目安にする。</p> <p>4 日平均気温から水稻の生育到達日を推定する簡便な予測式から算出した指標であり、出穂後有効積算気温や試算される粗玄米重などの数値は、栽培条件等により変動する。</p>														
問い合わせ先(電話番号)	農林総合研究所 作物部 (0172-52-4396)	対象地域	県内全域(下北地域を除く)												
発表文献等	平成22～24年度 試験成績概要集(農林総合研究所)														

【根拠となった主要な試験結果】

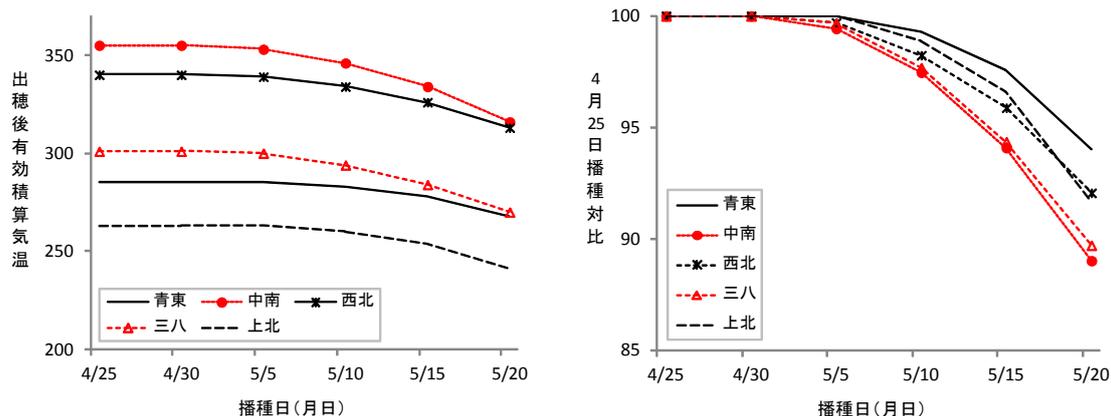


図1 各播種日の出穂後有効積算気温 (°C・日) と4月25日播種に対する出穂後有効積算気温の比 (%) (平成23～24年 青森農林総研)

(注) 各播種日に対する出穂期は、1km四方メッシュ化した日平均気温のアメダス平年値を用いて「みなゆたか」の生育予測式から算出した。また、出穂後有効積算気温は登熟の下限温度を13°Cとして、これを下回るまで登熟させる条件で算出した。

表1 出穂後有効積算気温から試算される㎡当たり籾数別の粗玄米重

(平成23～24年 青森農林総研)

出穂後有効積算気温 (°C・日)	粗玄米重 (kg/a)			シンク充填率 (%)			シンク容量 (kg/a)		
	3.0万粒	3.5万粒	4.0万粒	3.0万粒	3.5万粒	4.0万粒	3.0万粒	3.5万粒	4.0万粒
250	48.7	53.6	57.8	71	68	66			
300	52.8	58.3	63.0	77	74	72	69.0	78.8	88.0
350	56.9	63.0	68.3	82	80	78			
400	61.0	67.7	73.5	88	86	84			

- (注) 1 シンク容量=㎡当たり籾数×千粒重  
 2 シンク充填率は次式 ( $y=0.1194x1-0.00049x2+55.4$ ,  $y$ : シンク充填率,  $x1$ : 出穂後有効積算気温,  $x2$ : ㎡当たり籾数) から算出した。  
 3 粗玄米重は次式 (粗玄米重 (kg/a) = シンク充填率 (%) × シンク容量 (㎡当たり籾数 × 精玄米の千粒重/1000 (g)), kg/a) から算出した。千粒重は、㎡当たり籾数が3.0万粒のとき23.5g、3.5万粒のとき23.0g、4.0万粒のとき22.5gとした。  
 4 各地点の出穂後有効積算気温は図2を参考にする。

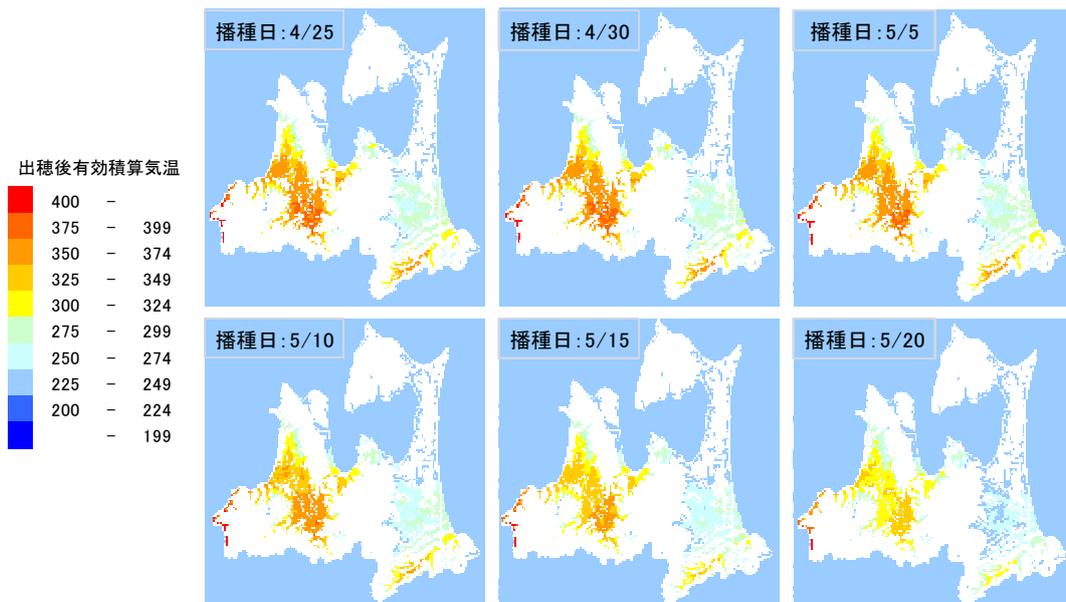


図2 播種日と出穂後有効積算気温 (°C・日) (平成23～24年 青森農林総研)

(注) 各播種日に対する出穂期は、1km四方メッシュ化した日平均気温のアメダス平年値を用いて「みなゆたか」の生育予測式から算出した。また、出穂後有効積算気温は登熟の下限温度を13°Cとして、これを下回るまで登熟させる条件で算出した。